

© 「AI電卓」の統計学上の意義

松原 望

東京大学名誉教授（統計学）

1. Deep Learning の進展の反面、データの由来や意味を問う機会が少なくなっているのが現状
2. 質的データを扱うダミー変数を機能的に自在に扱うことができ、質の数量化を通じて、意思決定が飛躍的に簡便になる
3. 理由の「説明」が可視化され、機械学習の White Box が現実一步踏み出す
4. 機械学習における Decision Tree の現実的応用を拡大し「人間中心のAI」の一層の進展となる
5. 「AI電卓」は「電卓」のようなものなので、Pythonスクリプトなどは必要なく、また「AI」であるから、データサイズは数百万件でも十分対応可能